

令和 8 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 3 学年 男子

教科担当者:	A組 嶋田	B組 嶋田	C組 嶋田	D組 嶋田	E組 嶋田	F組 嶋田	G組 嶋田
使用教科書:	現代高等保健体育						

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている	課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る	運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 1 スポーツテスト 【知識及び技能】 自分の体力状況を把握し、記録の向上を目指す 【思考力、判断力、表現力】 生活における運動習慣を見直し、必要な運動について考える 【学びに向かう力、人間性等】 体力、運動能力を向上させるための知識を身につける	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自己体力の把握	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 自分の体力状況を把握できている	○			2
	・教材 生活における運動習慣を見直し、必要な運動について考えることができる	【思考力・判断力・表現力】 生活における運動習慣を見直し、必要な運動について考えることができる				
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 体力、運動能力を向上させるための知識が身につけている				
単元 2 インディアカ(男子) 【知識及び技能】 ニュースポーツに取り組み、ルールの理解や運動量について理解する 【思考力、判断力、表現力】 競技の持つ柔軟性を理解し、ルールや競技のやりやすさを考える 【学びに向かう力、人間性等】 お互いに助言し合い、技術の向上を図る	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 競技の理解	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ニュースポーツに取り組み、ルールの理解や運動量について考えることができる	○	○	○	12
	・教材 競技の持つ柔軟性を理解し、ルールや競技のやりやすさを考える	【思考力・判断力・表現力】 競技の持つ柔軟性を理解し、ルールや競技のやりやすさを考えることができる				
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 お互いに助言し合い、技術の向上を図る				
1 学期 単元 3 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力】 【学びに向かう力、人間性等】	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
単元 4 水泳 【知識及び技能】 手と足のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ 【思考力、判断力、表現力】 各泳法を理解し、安定したペースで泳ぐ 【学びに向かう力、人間性等】 水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 泳法の習得	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 手と足のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる	○	○	○	4
	・教材 各泳法を理解し、安定したペースで泳ぐ	【思考力・判断力・表現力】 各泳法を理解し、安定したペースで泳ぐことができる				
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加できる				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説						
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説						

令和 8 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 3 学年 男子

教科担当者:	A組 嶋田	B組 嶋田	C組 嶋田	D組 嶋田	E組 嶋田	F組 嶋田	G組 嶋田
使用教科書:	現代高等保健体育						

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている	課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る	運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 4 水泳	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
手と足のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ	泳法の習得	手と足のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
各泳法を理解し、安定したペースで泳ぐ		各泳法を理解し、安定したペースで泳ぐことができる				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加する		水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加できる				
単元 5 ハンドボール(男子)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
安定して状況に応じたボール操作を身に付け、ゲームに生かす	技術の理解と習得	安定して状況に応じたボール操作を身に付け、ゲームをする				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	11
試合を想定し、味方や敵の動きの理解して連携を考える		試合を想定し、味方や敵の動きの理解して連携を考慮することができる				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受け自己の責任を果たす		ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる				
2 定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						
単元 6	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
単元 8	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						

令和 8 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 3 学年 男子

教科担当者:	A組 嶋田	B組 嶋田	C組 嶋田	D組 嶋田	E組 嶋田	F組 嶋田	G組 嶋田
使用教科書:	現代高等保健体育						

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている	課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る	運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 ハンドボール (男子)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
安定して状況に応じたボール操作を身に付け、ゲームに生かす	技術の理解と習得	安定して状況に応じたボール操作を身に付け、ゲームをする				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	2
試合を想定し、味方や敵の動きの理解して連携を考える		試合を想定し、味方や敵の動きの理解して連携をすることが出来る				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用 (場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受け自己の責任を果たす		ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる				
単元 6	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用 (場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
3 単元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用 (場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用 (場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査 (学年末考査) / 返却と解説						